

## 平成 21 年度第 6 回建築学教育 FD/IT 活用研究委員会会議議事録（案）

I. 日時：平成 22 年 2 月 20 日（土）16 時～20 時

II. 場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館）

III. 出席者：若井委員長、衣袋副委員長、寺尾委員、真下委員、三原委員、  
関口アドバイザー、井端事務局長、森下事務局員、恩田事務局員

IV. 資料：

◇平成 21 年度第 5 回建築学教育 FD/IT 活用研究委員会会議議事録（案）

◇各委員からの提出資料

- ① 建築学の情報教育（素案 2010.2.12 若井委員長）
- ② 建築学の情報教育（素案 2010.2.12 衣袋副委員長）
- ③ 建築学の情報教育（素案 2010.2.18 関口アドバイザー）
- ④ 建築学の情報教育（素案 2010.2.18 寺尾委員）

◇他学系分野の情報教育に関する当日配布資料

土木工学の情報教育、電気通信工学の情報教育、栄養学の情報教育、教育学の情報教育、政治学の情報教育、心理学の情報教育、英語教育の情報教育、美術・デザイン教育の情報教育、コミュニケーション関係学の情報教育、経済学の情報教育、経営学の情報教育、会計学の情報教育、国際関係学の情報教育

V. 議事

開催にあたり、初参加の三原 斉委員（ものづくり大学）から自己紹介があった。

1. 本日の記録担当者について

本年度の記録担当委員が一巡したことを踏まえて、若井委員長を担当者とした。

2. 分野別情報教育について

今回の委員会が本年度最後となるので、「建築学の情報教育」について本日中に最終的な文案の取り纏めを行うことが確認された。

1) 建築学の情報教育（2010.2.12 若井委員長）素案について

- ・これまで検討してきた内容と他学系分野の情報教育の文案をもとに到達目標 1~3 にまとめたものであるが、これをたたき台としてご検討いただきたい。

2) 建築学の情報教育（2010.2.12 衣袋副委員長）素案について

- ・前項の委員長案をもとに、到達目標 2 の到達度②に「建築の設計 CAD ソフトを活用した室内外環境シミュレーション技法を身に付けている」、教育内容・教育方法②に「②は、BIM（Building Information Modeling）ツールを活用した環境情報視覚化のための建築設計情報処理を行う」との内容を新規に加筆した。

3) 建築学の情報教育（2010.2.18 関口アドバイザー）素案について

- ・起承、転結、持続的発展などの新たな視点から、到達目標 1~3 をまとめ直した。

#### 4) 建築学の情報教育（2010.2.18 寺尾委員）素案について

- ・委員長案をもとにして、**到達目標 2**に「構造・環境・設備システム」を加筆した。
- ・**到達目標 1~3**の各項目について、文言の見直しと加筆修正をした。

以上の説明後、「建築学の情報教育」の文案は、必ずしも委員長案に拘泥することなく策定することとなり、他の学系分野の文案なども参考にして長時間論議された。その結果、下記の**到達目標 1~3**（抜粋）が最終案として策定された。

##### **到達目標 1**

建築学の問題発見・解決に必要な情報の収集・整理・発信などができる。

##### **到達目標 2**

情報処理技術を活用して、建築の設計製図や構造・環境・設備システムの解析等を行うことができる。

##### **到達目標 3**

ICT を活用して、建築の学術・技術・芸術を体系的に理解できる。

注：到達度、教育内容・教育方法、到達度確認の測定手段は、原文参照

#### 3. 今後のスケジュールについて

- ・今回まとめた文案は、加筆修正等があれば2月末までに事務局へ連絡すること。
- ・次年度以降は、各学系分野における情報教育の教育力などについて検討する。
- ・次回の本委員会は、平成22年6月に開催予定とし、今回の宿題はない。

#### 4. その他

- ・若井委員長から、今期を持って委員長辞退の申し出があり、次期委員長に衣袋副委員長を推薦する旨の動議があり、特に異存がなく了承された。

以上